

別表1 女性エリートコーチ育成プログラムが設定するコンピテンシー

コーチの 発達段階	スタンダード	アドバンス	エリート	イノベーター	ターゲットとする スキルおよび キーワード
	プログラム1年目で達成するレベル	2年間のプログラム終了時点で 確実に到達を目指すレベル	2年間のプログラム終了時点で このレベルのスタートラインに立つ	生涯を通して目指すコーチ像	
ビジョンと 戦略の設定	ビジョン設定に他者の意見を取り入れることができ、他者の支援やツールを用いることで年間の戦略を可視化した形で示すことができる。	アスリート個人、チーム、ステークホルダー、コーチ自身、それぞれのニーズを反映したビジョンを設定し、ビジョン達成に向けた年間の戦略を立案することができる。また、ビジョンと戦略を簡潔かつ説得力のある方法で示し、チーム内の賛同を得ることができる。	自身の指導現場を取り巻く全体像を把握し、個々のニーズを満たした包括的なビジョンを設定するとともに、実現に向けた戦略を中長期的視点から論理的かつ先見性をもって策定できる。また、ビジョンと戦略をチーム、ステークホルダーに浸透させ、共通の信念を醸成することができる。	動的かつ複雑で絶対解を見いだすことが困難な現代社会において、現在の社会的通念を打ち破る挑戦的で明確なビジョンを持ち、そのビジョンを実現に結びつけるための明確かつ柔軟、本質的な課題にアプローチする戦略の設定ができる。また、他者がそのビジョンと戦略へ賛同しなくなってしまう影響力を有し、社会におけるスポーツの意義や組織の存在価値を高めていくことができる。その結果として、日本の国際競技力向上を牽引することができる。	システム思考スキル、情報収集力、情報発信力、ニーズ分析、本質看取、プランニング、KPI、コミュニケーションスキル、アジャイル開発スキル、リーダーシップスキル等
環境の整備	競技力向上に必要な人的資源、物的資源、経済的資源やシステム、または文化的背景を分析し、現場とのギャップを説明することができる。基本的な救急処置を実施することができる。事故に対処する準備ができてい	ビジョンと戦略に必要な人的資源、物的資源、経済的資源を明確にすることができる。安全にスポーツ活動を実施するための環境を整備できるとともに、チームスタッフの役割と責任を明確化し、成長し続ける組織文化や環境の構築に向け、協力的な姿勢を示すことができる。	ビジョンと戦略に応じた、人的資源、物的資源、経済的資源、システムを整備するとともに、一貫してアスリートとスタッフの安全を確保している。また、組織として継続的に成長していくため、アスリートとスタッフが互いに学びを支援しあえる文化や環境を構築することができる。	ビジョンと戦略に基づき、得られる人的資源、物的資源、経済的資源、およびシステム資源を最大限に活用しつつも、新しい資源開発に惜しみなく取り組み、組織として学習しながら、よりよい環境整備に向けて挑戦し続けることができる。	特性要因分析、ステークホルダー分析、アントラージュマネジメント、選手育成システム、ITリテラシー、危機管理システム等

コーチの 発達段階	スタンダード	アドバンス	エリート	イノベーター	ターゲットとする スキルおよび キーワード
	プログラム1年目で達成するレベル	2年間のプログラム終了時点で 確実に到達を目指すレベル	2年間のプログラム終了時点で このレベルのスタートラインに立つ	生涯を通して目指すコーチ像	
人間関係の 構築	チーム内の関係者へ理解を深める努力をしている。自分の考えを整理して伝えることができ、他者の意見を引き出すため意識的に発問することができる。	他者との関わりの中で相手の文脈を読み取るための視点や具体的なアプローチを挙げることができ、意識して振る舞いを変えることができる。結果としてアスリートやチーム内の関係者と良好な人間関係を構築することができる。	他者の文脈を読み取る高い能力を有し、状況に合わせて行動を調整することができる。アスリート、チーム関係者及びアスリートやチームを支援する関係者と互いに信頼、尊重できる関係性を構築しており、自身の振る舞いが他者へ与える影響を理解するとともに倫理的配慮や法的基準を遵守する規範として立ち振る舞うことができる。また、ビジョン達成に向け協力を仰ぐべきステークホルダーや専門家を分析し、協力を取り付けるとともに互いに支援し合える関係性を築くことができる。	感情知性や文化的知性に裏付けられた、親密性、コミットメント、相補性、共志向を基盤とした質の高いコーチ-アスリート関係を構築する能力が秀でており、ロールモデルとしてアスリートの信頼と尊敬を得ている。コーチ-アスリート関係以外にも、様々なステークホルダーとの良好な関係性を築きつつも、常に関係性の質を高めると同時に、新しい関係性を探し求め、自身のコーチングに対する支援者を開拓し続けている。	観察・傾聴・承認・質問スキル、共感性、感情知性、文化的知性、コミュニケーションスキル、プレゼンテーションスキル、ファシリテーションスキル、リーダーシップスキル等
練習の実施と 試合への準備	自身の競技経験または指導経験、他者の支援を得ることで年間計画や具体的な目標を設定することができる。アウトカムベースの練習を立案することができ、アスリートやスタッフに運営方法や意図を説明できる。	ビジョン達成に向けた年間計画を短期・中期・長期目標から細分化して立案することができ、計画の進行を情報に基づいて評価することができる。また、練習ではスポーツ医・科学の知見を活用し、アスリートの思考や主体性を刺激する具体的なアプローチを意識してとることができる。	達成すべきビジョンに基づき、アウトカムベースで中長期計画やセッションを計画・運営・評価し、状況に応じて柔軟に修正することができる。練習やコンディショニングはスポーツ医・科学分野の専門家と連携し、科学的根拠に基づく実践を行うとともに、アスリートの学習を最適化するため個々の文脈に合わせた練習方法や教授方法を選択することができる。	複数スタッフが関わる各種ナショナルチームで指揮をとることができる。スポーツ医・科学の最先端知識を有する科学者らと協力して、新しい戦術の開発や練習方法の開発ができる。その競技の発展に向けた取り組みをリードしている。また、コーチング現場からスポーツ医・科学スタッフに対して新たな研究のインスピレーションを与えられる対話を行うことができる。練習の過程においては、その場の文脈に合わせて、アスリート自身が主体的にパフォーマンス向上の課題解決に取り組んでいくのに適切な方法論を選択できるように、多くのアプローチを身につけている。	スポーツ医・科学活用スキル、運動学習理論に基づいた練習構築、ピリオダイゼーション、コンディショニング、チームビルディング、アスリート・センタード・コーチング等

コーチの 発達段階	スタンダード	アドバンス	エリート	イノベーター	ターゲットとする スキルおよび キーワード
	プログラム1年目で達成するレベル	2年間のプログラム終了時点で 確実に到達を目指すレベル	2年間のプログラム終了時点で このレベルのスタートラインに立つ	生涯を通して目指すコーチ像	
現場の理解 と対応	いかなる状況においてもアスリートの権利や尊厳、人格を損なう行為が許されないことを認識し、相手の感情や考えを尊重する姿勢を意識している。アスリートのパフォーマンスを自身の競技経験や指導経験を活かして観察・分析・評価することができる。	全アスリートへ平等な対応を意識するとともにアスリート個人が持つ文脈を理解する努力をし、自身の言動が倫理規範に反するものでないか、常に振り返ることができる。安全なスポーツ環境を整える具体策と基本的な救急処置能力を有している。また、アスリートのパフォーマンス把握にはスポーツ医・科学の視点を活用することができ、科学的根拠をもって判断することができる。	チームを取り巻く関係者の権利や尊厳、人格を尊重した行動ができ、有事に備えた安全管理の体制を整えている。アスリート育成強化に関わる専門家と連携することで、多角的にパフォーマンスの観察・分析・評価を可能にしており、根拠に基づいて競技力向上へアプローチすることができる。また、意思決定は一貫してビジョンと戦略に基づいており、常に説明責任を果たす準備ができている。	他のロールモデルとなる倫理観や規範意識を有している。適切な安全管理と救急処置能力を有し、アスリートの安心・安全なスポーツ活動を可能にしている。その時々の変化する文脈を敏感に読み取る力を有し、設定したビジョンと戦略に基づいた適切な一貫した言動を選択することができる。優れた感情知性や文化的知性を発揮し、アスリートを始め、全ての関係者と平等な立場に立ち、常に謙虚な態度をとることができる。柔軟な思考法によって、複眼的な視点から事象を見つめ、自らが学びながら意思決定し、行動していく力を有している。	倫理観、コーチング哲学、安全管理、救急処置、観察・傾聴・承認・質問、形成的評価、フィードバック、コミュニケーション、プレゼンテーション、ファシリテーション、コンフリクトマネジメント等
学習と内省	アスリートの競技力向上に貢献するため、コーチ自身が学び続ける重要性を認識し、自身の課題を特定できる。成長のため他者の意見や新たな知識を取り入れることができる。	コーチとして常に学び続ける必要性を認識し、自身のコーチングを振り返っている。成長のため課題を分析し、変化を恐れず挑戦することができる。客観的にパフォーマンスを評価する重要視を認識し、積極的に他者から学ぶ機会を設けている。	客観的な視点で自身のコーチングを振り返ることができ、根拠に基づいて評価し、解決策を選択する。コーチングに関連する最新の情報を常に収集するとともに実践コミュニティに参加し、自ら情報を発信するとともに他者から学ぶ姿勢を示している。常に変化を受け入れる柔軟な思考を持ち、挑戦的に実践を変化させることができる。	常に内省的で自身を客観的な視点から評価することができる。困難や挑戦を歓迎し、全ての経験を学びの機会として捉えることができる。また、自分の成長に責任を持つだけでなく、実践コミュニティの中心として他者の学びをリードしつつ自分の学びに繋げられる。	自己認識、省察的実践者、アクションラーニング、成長的マインドセット、リジリエンス、向上心、実践コミュニティ等